

# 富士宮市「富士山学習」視察報告

平成30年2月1日

教育長職務代理者 高木 敏弘

【日程】平成30年1月26日（金）～27日（土）

【参加者】日岡教育長、高木教育長職務代理者、教育総務課秋山課長

※大雪のため当初の参加者及びスケジュールが大幅に変更となった。

【内容】

1月26日（金）午後

- 富士山世界遺産センター視察  
富士山を活かしたまちづくりについて  
(富士宮市企画部富士山世界遺産課 二又川直之 氏)
- 「富士山学習」の今日に至るまでの経過について  
富士宮市教育委員会  
教育長 池谷真徳 氏  
教育部長 佐野宏幸 氏  
教育総務課長 瀧川日出男 氏



1月27日（土）

「第20回富士山学習 PART II 発表会」視察

【午前】プレゼンテーション・展示発表視察



【午後】ステージ発表視察



## 【所感】

夫婦都市である富士宮市教育委員会では、ふるさと学習である「富士山学習」(\*)を長年にわたり実施されていることから、本市教育委員会で取り組み始めた「ふるさと学習」の今後の取組への参考にするため視察しました。

※「富士山学習」は平成10年度にスタートし今年で第20回となる。

「富士山学習」は「もっと知りたい、学びたい」という子どもの学習意欲を源にした体験的な問題解決学習を目指した「富士山学習(PART I)」に始まり、そのことを継承しながら教科等の関わりに焦点を当てた学びの過程を大切に作る活動を創造してきた「富士山学習 PART II」へと発展し、それぞれの学習の過程で、学校・地域・企業等が一体となって取り組むことを通し、郷土に誇りを持ち、郷土を愛する子どもを育ててこられました。富士山の世界遺産への登録も、こうした取組が評価されたことと聞いています。

当日は、近江八幡地区の大雪のため参加者・視察内容を大幅に変更せざるを得なくなったものの、まさに、本市教育委員会が進めようとしている「ふるさと学習」の理想形を目の当たりにしたという思いであり、“よくぞここまでされたものだ”と大きな衝撃を受けました。

ここまでにするのは並大抵の努力ではとてもできないと思いますが、一歩ずつ近江八幡市版「ふるさと学習」の取組を進めていきたいと思っています。

今後も両市教育委員会で交流を続け、「ふるさと学習」の今後の取り組み方について、いろいろとご指導をいただきたいと考えています。夫婦都市である富士宮市での取組を視察しましたが、「富士山学習」は全国的に見ても特筆すべき取組であると考えます。

「富士山学習」を通じてふるさとを愛する子どもが育ち、それに関わる教師が育ち、親が育ち、大人が育ち、地域が育つ。活動を継続することで内容が深化され、さらに子どもが、教師が、親が、大人が、そして地域が育ち・・・、時間をかけてそういった『市民』が育まれていく。近江八幡市版「ふるさと学習」も、このようになっていくことを目指して取り組みたく思います。





第20回

# 富士山学習Ⅱ 発表会

PART



富士山を心に、  
夢をもって生きる子ども

知りた  
いこと  
を  
共に学  
ぶ旅

富士宮市立西富士中学校 3年 坂田 奈緒 さん

プレゼンテーション発表

平成30年 1月27日 土 10:00~11:35

市民文化会館/中央図書館  
/宮本区民館

ステージ発表

平成30年 1月27日 土 13:00~15:30

市民文化会館  
(大ホール)

展示発表

平成30年 1月27日 土 12:00~16:30

1月28日 日 11:00~15:00

1月29日 月 9:00~14:30

市民文化会館  
(展示室1・2・3)

会場

■市民文化会館 ■中央図書館  
■宮本区民館

主催

富士宮市教育委員会  
富士山学習研究委員会



富士山を心に、夢をもって生きる子ども

# 富士山学習 PART II

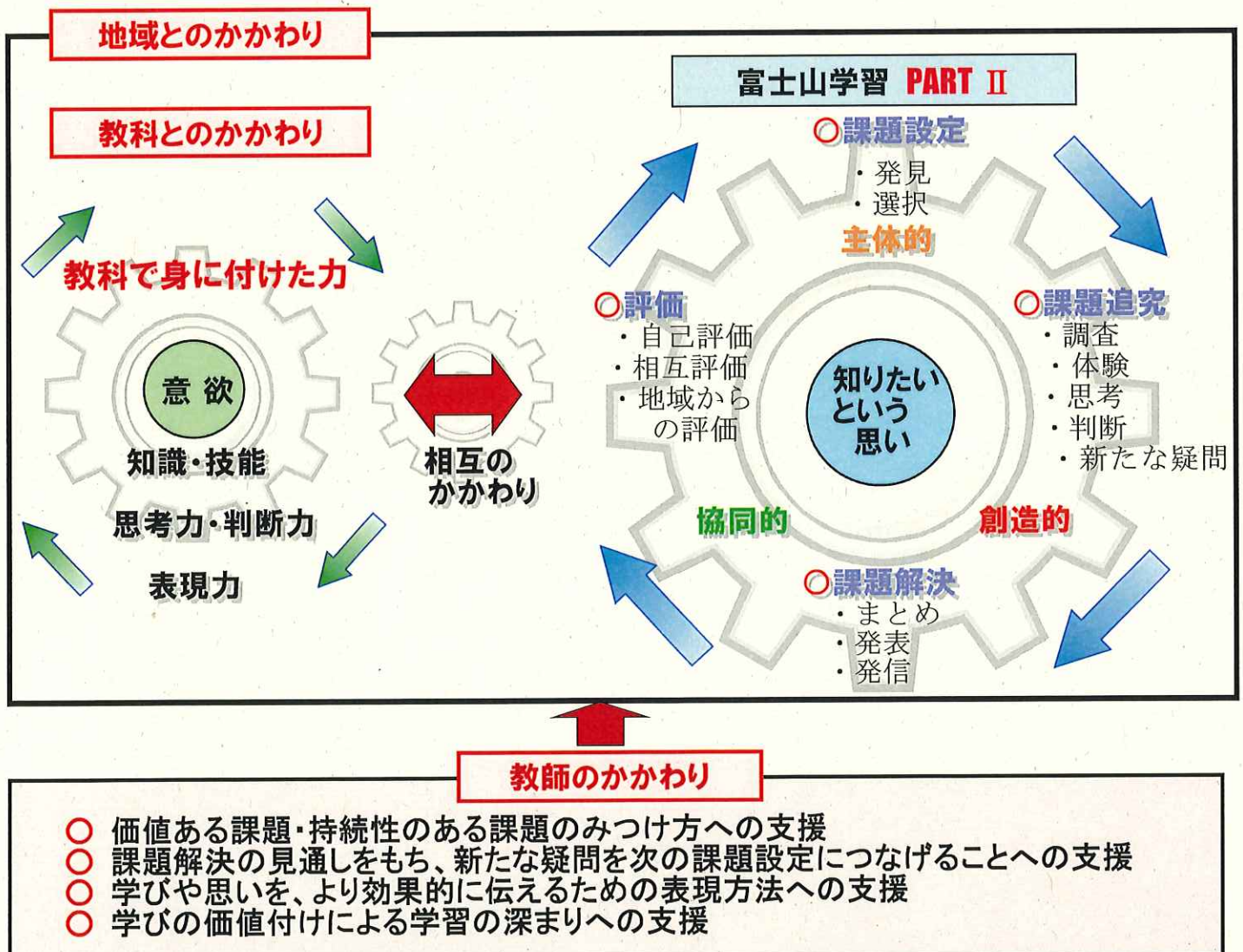
～知りたいことを共に学ぶ旅～

## 目標

- 富士山とのかかわり、富士宮に住む人々とのかかわりを通して、郷土に誇りを持ち郷土を愛する子どもを育てる。
- 知りたいという思いを大切に自ら学び続ける子どもを育てる。

## 学びの過程で「身に付けたい力」

- 課題を設定する力
- 体験や情報を生かして課題追究する力
- 他者と協同・協力して課題解決する力
- 学んだことをわかりやすく伝える力
- 自分の学びを的確に評価できる力



## 教師のかかわり

- 価値ある課題・持続性のある課題のみつけ方への支援
- 課題解決の見通しをもち、新たな疑問を次の課題設定につなげることへの支援
- 学びや思いを、より効果的に伝えるための表現方法への支援
- 学びの価値付けによる学習の深まりへの支援